り、京都市のホテル京都エミナー 6年6月21日(金) 9時30分よ

令和6年度定時総会は、令和

スに於いて、各地からの会員の

員改選についての審議が行われ

年度事業計画と予算、

並びに役

事業報告と収支決算及び令和6

この総会では、令和5年度の

正会員数483名中、出席者

第6号議案

任期満了に伴う理

しました。

監事の改選

算書案承認の件 30日までの暫定予 より令和7年6月

名以上加入させた方4名を表彰

令和5年度中に新入会者を5

◇会員増強表彰◇

友

一令和5年度事業報告並びに収支決算と

令和6年度事業計画並びに予算が承認される~

令和6年度

定時総会

第

4号議案

令和6年度収支予 算書案承認の件

8

会員異動状況 開催未定

画書案承認の件

第3号議案

令和6年度事業計

令和8年以降については、

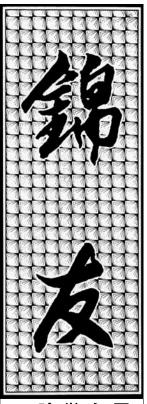
算書案承認の件

第2号議案

令和5年度収支決

第5号議案

令和7年4月1日



徹 心

能 興

般社団法人詩吟朗詠錦城会

〒106-0045

 \Diamond

提

出

議

案 \Diamond

署名人

塩川錦晃(奈

吉松城勇(宮

崎 良

7

全国大会開催地に関する報

への入会を勧めて欲しい。

超えた場合は、

錦友…第318号

· 発行 · 一般社団法人詩吟朗詠錦城会東京都港区麻布十番2-4-14

第

1号

議

案

令和5年度事業

告書案承認の

◎令和7年12月7日

福岡県大野城市

「まどかぴあ」

◎令和6年10月13日

函館市民会館大ホ

ル

〈令和6年7月20日〉

電話:東京03-5484-3301(代)

·編集 ·

吟 曲 玉

加のもと開催されました。 暑中お見舞い ました。

申

し上げます

会員の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかにお過 ごしのことと存じます。 吟界の諸先生方をはじめ、全国各方面の皆様、並びに

誌上より謹んで暑中のお見舞いを申し上げます。 例年にない猛暑のおり、ご自愛くださいまして、 ご健勝と

令和六年 盛夏 併せて益々のご発展をお祈り申し上げます。

(1) 第318号

社 詩吟朗詠錦城会 詩吟朗詠錦城流 会長 宗家 城戸城濤 山元錦城

議

長

村山城機(東

京

り、承認されました。 定足数242名を上回ることが 210名で、総会成立に必要な 100名、書面議決書提出者数 出来、各議案とも賛成多数によ 正会員各位のご協力に対

行われ、各議案とも賛成多数で

東本錦怜

岡 島

金子錦佑

長 福 西川錦洸

広 (鹿児島)

本村錦香

以上の議案についての審議

承認されました。

御礼申し上げます。

総本部-

開会の辞 会長挨拶 城戸 毎熊城明 , 城 (長崎県

◇議長及び 議事録署名人の選出◇

されました。 が議長及び議事録署名人に選出 議事進行に当たり、 次の方々

3 報告

組織体長等の変更の報告

特別賛助会員と賛助会員

0)

\Diamond 報 告 事 項

1 会議開催の報告

2 傘下団体の認可及び閉鎖 0

5 4 会員数報告

6 決まっているので、それを 団体指導に関する報告 超えて教えることは出来な 団体指導の期間は、 年と

> ます。 事業遂行にあたり、 支援とご協力をお願い申し上げ 会員各位には、 令和6年度 引き続きご

事 第6号議案で選任され 監事は、 次頁に記載 た理



鍛治錦代(愛 知) 吉本城川(鹿児島)

(令和6年度定時総会第2号議案資料)

令和5年度 収支計算書 令和5年4月1日から令和6年3月31日

141 G 2 D I II C L D II I	
	(単位 円)
科目	決 算 額
I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
① 基本財産運用収入	340
②入会金収入	71,300
③ 会 費 収 入	21,288,850
④ 事 業 収 入	10,453,002
⑤ 雑 収 入	24, 625
事業活動収入計	31,838,117
2 事業活動支出	
① 事業活動支出	22,505,218
②管理費支出	12,791,324
事業活動支出計	35,296,542
事業活動収支差額	△3,458,425
II 投資活動収支の部	0
1 投資活動収入 2 投資活動支出	
2 投資活動支出	800,000
投資活動収支差額	△800,000
Ⅲ 財務活動収支の部	0
IV 予備費支出	0
当 期 収 支 差 額	△4,258,425
前期繰越収支差額	44,827,931

借 対 照 令和6年3月31日現在

W A	① 事業伯勤又山	22,303,216
ě	②管理費支出	12,791,324
*	事業活動支出計	35,296,542
*	事業活動収支差額	△3,458,425
ě	II 投資活動収支の部	
ě	1 投資活動収入	0
*	2 投資活動支出	800,000
*	投資活動収支差額	△800,000
*	Ⅲ 財務活動収支の部	0
*	Ⅳ 予備費支出	0
*	当期収支差額	△4,258,425
%	前期繰越収支差額	44,827,931
ě	次期繰越収支差額	40,569,506
%	SOMMO OXER	10,000,000
%		
ě	貸 借 対 照	表
*	<u> </u>	
*		(単位 円)
*	科目	決 算 額
ě	I 資産の部	
₩	1 流 動 資 産	40,754,829
%	2 固定資産	
ě	(1)基本財産	20,000,000
*	(2)特定資産	4,530,000
ģ	(3) その他の固定資産	164,649,639
₩	資 産 合 計	205,404,468
%	II 負債の部	
ķ	1 流 動 負 債	185,323
%	2 固定負債	0
%	負 債 合 計	185,323
À	Ⅲ 正味財産の部	
ě	1 指定正味財産	0
*	2 一般正味財産	205,219,145
Å		
X	正 味 財 産 合 計	205,219,145
>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	世 味 財 産 音 計 負債及び正味財産合計	205,219,145

札幌北道場

木田重信

樋渡

徹

水戸支部

沼田富次

関

貴史

長浜支部 大宰府道場 有田道場

宮村和三

梶谷勝男

港道場 佐藤喜美江

津屋崎道場 佐世保支部

中島泰明

筒井三郎

佐久道場

土

船橋道場 函館支部

河内泰子 高橋緑郎

台東道場

高橋美千子

Ш

田

長崎支部

烏山海都人

烏山

(3/26~6/

新見俊明

新

777	₩
6	*
6号議案で	₩ &
議	ě
案	*
7	Ö
選	Ý
選任された	₩
] <u>T</u>	ŏ.
9	Ý
れ	*
た	٧ ۵
理	ě
	*
	₩
	×

錦

会

長

副会長

本村錦香(鹿児島) 城戸城濤 (茨

"

専務理事

土師城皓(神奈川) 金子城大(埼

丢

常務理事

高羽城幹(神奈川)

監

事

"

事・監事

は

笙

理

事

村山城機(東 佐藤錦杲(神奈川)

西川錦洸(広東本錦怜(福

岡 京 京

島

中野錦修(金子錦右) 土田城紘(毎熊城明(藤田錦信(岩田城龍 大内城晃 佐藤城孝 (神奈川 東 東佐 滋 茨 長 宮 京賀賀崎 城京

錦城流・

錦城会の

現状と今後について



城戸会長と土師専務理事

5

3

席された師範と意見交換が行わ れました。 土師城皓先生の進行により、出 会長・城戸城濤先生と専務理事・ 総会終了後、次の件について、

会員数の報告 昨年度の再入会者数

2

師範の動静 について 全国師範会の現状と今後 「団体指導」について は、40名であった。

ましたが、時間不足で途中で散

持ち越しとなりました。

その他諸々の検討事項があり

会費収入につい 7

お詫びと訂正

明代さんは、 318号の加世田道場 藤木明代さんの間 本

島原支部 大隅道場 鎌倉道場 間垣支部 鹿児島支部 南有馬支部 大野城道場 板橋支部 廣渡 野原 下野妙子 木村栄二郎 前畑三津江 中村哲郎 泊 橋口昌孝 和子 務 萌 豊村勝

違いでした。

令和6年度 事業計画書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

〔事業計画〕

事業(1) 公演の実施(予算5,608千円)

一. 詩吟全国大会···10月13日(日)北海道函館市

事業(2) 講習会、研修会の実施(予算2,693千円)

- 一. 全国詩吟講習·研修会 第一回指導者講習·研修会···R6年6月20日(木)~21日(金) 京都府京都市
- 二. 全国詩舞講習·研修会
- 三. 全国琵琶講習・研修会
- 四. 傘下認可団体各都道府県本部講習・研修会

事業(3) 総合芸術の調査並びに自主制作の実施(予算2.059千円)

- 一. 琵吟舞曲等の自主制作・調査研究
- 二. 琵琶芸術の振興

事業(4) 図書の刊行、機関誌の発行(予算1,481千円)

機関誌「錦友」317号~320号の4回発行する

事業(5) 広報・宣伝の実施(予算323千円)

ホームページにより、広報・宣伝並びに情報開示に努める

事業(6) 合同事業への参画実施(予算735千円)

- 一. 吟道之碑顕彰と維持管理・・・6年11月24日 東京都港区
- 二. 日本伝統文化吟友会・・・6年11月23日 大阪府岸和田市
- 三. 二十一世紀詩歌朗詠懇談会
- 四. 他会等との交流

事業(7) 吟詠、詩舞、琵琶の普及並びに振興を目的とする団体への支援 本会傘下認可団体の大会公演への後援(予算800千円)

一. 都道府県本部大会

長崎県本部発足70周年記念大会···6年4月7日(日) 長崎県大村市 広島県本部発足60周年記念大会···6年4月14日(日) 広島県福山市 鹿児島県本部発足60周年記念大会··6年9月29日(日) 鹿児島県鹿児島市

- 二. 支部・道場・吟詠部大会
- 三. 公開発表会・開拓普及発表会 (琵琶吟の発表会を予定)・・・6年9月14日 (土) 福岡県春日市

事業(8) その他、各号に定める事業に関する事業(予算257千円) 表彰事業の実施及び特別賛助会員の募集事業

- 一. 会員増強に対する表彰
- 二. その他の表彰 功労表彰
- 三. 本会の趣旨に賛同し後援者である特別賛助会員及び賛助会員を募集する

事業(9) 不動產賃貸業(予算480千円)

本会所有の「錦城会館」の一部を賃貸する

令和6年度 指 導 講

会が開催されました。プログラ 於いて、第一回指導者講習研修 都市のホテル京都エミナースに ム記載の参加者数は百十五名で 令和6年6月2日 (木)、 京

ログラムには載っていませんで ご披露下さいました。 は独吟の発表を行いました。プ 下は連合吟、大師範以上の会員 始まり、3番までの総教師範以 したが、山元錦隆先生も和歌を 和田錦堯総師範の開会の辞で

山元錦城

から先も、この時間は続けてい ありがとうございました。これ 時はないと思います。皆さんの きたいなと思います。 す。皆様、本当にお疲れさまで いと、いつ聞いても感銘をしま した。私から感謝申し上げます。 師範の大会の時ほど緊張する 挑戦する姿は、素晴らし

と高橋慧山先生を舞台にお招き ここで、伴奏の河野正明先生

生は、吟剣詩舞振興会の発声の 事な尺八の先生方です。河野先 先生です。全国の色々な吟を聞 いました。お二人とも吟界の大 今日は本当にありがとうござ

令和6年7月20日

に再度、 ます。 聞き直して頂きたいと思います。 もそうだなと思います。皆様方 番の勉強だという事です。 高橋先生からも一言お願いし 錦城流の吟をしっかり 私

ではなく、 を守るというのは、 『尺八の世界も同じで、

ものを持ってきて、新しいもの を積み重ねる。伝統は、守るの 積み重ねるもので 過去にある 伝統

用、 五類のままですが、マスクの着 全国吟剣詩舞コンクール 第三十三回日本伝統文化吟友会

した。

いて、 なって淋しいという質問に、次 界の大先輩方の吟が聞けなく のように回答されています。 の発声の講師として、最近、吟 います。吟剣詩舞振興会の会報 『昔の吟は、それぞれに特徴 **吐団法人詩吟朗詠錦城会** いろんな吟の指導されて 一回指導者講習·研修会·定時総会

れには、昔のテープを引っ張りがない。では、どうするか。そ 出して聞くことが一番。まね・ になってしまって、ちっとも味 ンクールのせいで、みんな一様 があって、それぞれに素晴らし いものがある。それが、最近コ コピーから始めることが良いと

を聞くのが一番だという事で 流祖の吟を丹念に聞く、それが 皆さん方にすれば、流祖 錦城流で吟をやるならば、

関東地区予選大会で優勝する

等、 会員の審査結果をご報告いたし 東決勝大会の出場権を勝ち得た 城会から多くの出場者の内、関 地区の予選大会が開催され、錦 して開催する事が出来ました。 神奈川地区・東京地区・埼玉 今だコロナウイルス感染症が 安全を第一にコロナ対策を 手先の消毒、密にならない

漢詩·一般二部

大根一直

区予選大会からです。 錦城会員の審査結果は、 先ずは、5月19日の神奈川地

短歌・一般の部 優勝 漢詩:一般四部 第三位寒河江護 漢詩·一般三部 優勝 " 準優勝 入賞 松原愼一 古賀 寒河江護 安田義子 曹

めました。

準優勝 古賀 中川新三 豊

運営は、 は、 高羽城幹先生が務めま 金子城大が当たり、 小宮喜八郎

> 選大会です。 錦城会員の審査結果は 次は、5月25日、 東京地 区予

般三部 優勝 中野三保子 第三位 入賞 水上理恵子 渡辺淳子 佐藤法子

般四部 入賞 入賞 久保寺壽 木屋吉弘 山口勝治

り、 審査員は、大田錦虹先生が当た 短歌・一般の部 第三位 金子美奈 運営は、 " シード 山口城宝師範が務 佐藤法子 丸山武夫

短歌:一般の部 優勝漢詩:一般四部 入賞 予選大会の開催です。 錦城会員の審査結果は、 最後は、6月8日、 埼玉地 有原裕絵 加藤正昭

日本伝統文化吟友会

金子城大

(一社)詩吟朗詠錦城会担当

ありがとうございました。

会を終わりました。 会の辞で無事、 最後に、藤田錦信総師範の閉 指導者講習研 修

短歌・一般の部 たり、運営は、 審査員長に、高羽城幹先生が当 第三位 林 金子城大が務め

お願いいたします。 地区予選大会に出場して技量 ます。錦城会会員の皆様方、各 様方は来年を期待いたしており 惜しくも入賞を逃されました皆 大会の出場をお慶び申し上げま す。おめでとうございました。 助に役立てて下さいますよう 来る8月17日開催の関東決

神奈川地区高羽城幹先生、 地区の会長、埼玉地区金子城大、 来ました事を感謝し、 の怪我人も出さず無事に終了出 区役員・委員の先生方に、一人 地区村雲岳稿先生を始め、 ました。日本伝統文化吟友会三 台上で頑張るお姿に感動いたし 出場者は、九十六歳でした。舞 数は、三百十八名で、最高年齢 に出場された他流派を含めた総 又、今回三地区のコンクー

長崎 県本 部 70 周 年記念大会を終え T

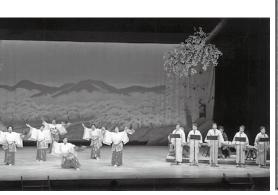
改めて哀悼の意を表します。 す。また、亡くなられた方々に、 震が発生しました。被害に遭わ れた皆様にお見舞い申し上げま で、4月3日には、 年頭の1月1日に、 台湾で大地 能登半島

らホール」と銘打っています。 好天に恵まれました。 折しも会場周辺は、桜舞い散る りに長崎県本部大会を開催いた の名所でもあり、会場は「さく は、県のほぼ中心に位置し、桜 しました。会場となった大村市 去る4月7日(日)、6年ぶ

城会会長・城戸城濤先生のご臨 席を賜りました。 家・本村緑崇先生、 .元錦城先生、詩舞道錦城流宗 .裕史様、詩吟朗詠錦城流宗家: 開催にあたり、大村市長・園 詩吟朗詠錦

錦

詩華」で開幕し、 をテーマにした詩吟舞曲「桜の 導により成長してまいりました。 始め、諸先生方のご尽力とご指 秋錦穂先生、 てから70周年を迎えました。 やかな吟と舞で観客を魅了しま 尾錦鳳先生、日高城翠先生方を く、松尾城州先生の代表作、桜 『県に詩吟朗詠錦城流が根付い 本大会は、この季節に相応し 本年は、全国に先駆けて、 松尾城州先生、松 女性会員の華 夏 長







を表した詩を吟じ、初代宗家の 生誕から米寿までの人生の節目 続 (CD) にのせて、 いて『祝』と題し、人間の

> した。 賀の詞」 詩吟物語「中国の春」 で本記念大会を祝いま では、

尺八・筝に胡弓が加わり、和服

厳且つ豪快に終わりました。 姿の女性会員が華を添えました。 合わせて剣舞、詩舞が入り、 信長」では、 最後の特別番組・琵吟舞物語 詩吟と琵琶歌に



たしました。

ることとい

れを受理す があり、こ い旨申し出 て退任した 月末日を以 り、この七 の問題もあ

日頃の稽古の成果を披露し、 の演奏に合わせ、朗々と吟じ、 員まで、古今の詩歌を尺八や箏 入会間もない会員から先輩会 観

客を魅了しました。

大会の報告といたします。 だき、ありがとうございました。 より感謝申し上げ、 を頂いた役員、会員各位に、心 た協賛ご出演の先生方、ご協力 より激励、励ましの祝電をいた 最後に、ご支援いただきまし なお、全国の各都道府県本部 長崎県本部

詩舞「祝 (長崎県本部長

毎熊城明

部の設立に際しては、初代青年

土師事務局長の退任にあたり

「長年のご労苦に感謝」

より、

体調

土師城皓氏 て来られた

城戸 城濤

般社団法人詩吟朗詠錦城会

流祖直属の文化部の一機関とし も青年部。今を去る五十五年前、 ります。会員の皆様には、 四年後の、 草彅城輝氏)の推進役であり、 とご不便をお掛けすることと思 揮・監督する事で対処してまい 信田の両事務局員を宗家が指 局長は置かず、現在の、岩堀・ て発足した青年部(初代は故 よろしくお願い申し上げます。 て頂きます。当面、後任の事務 の専務理事としての職責は続け いますが、ご理解とご協力の程 て理事に再任されており、 の独立機関となった全国青年 過日の令和六年度総会に於 土師君と言えば、何と言って 何か 現 在

昭和四十八年に総本 3 月 23 日 4 月 7 日

専務理事を始めとする役員の多 献であると考えます。 くが、当時の青年部の出身者で 吟詠家の育成と会員の結束に大 部長に就任して、錦城会の若手 あることを思う時、 在、全国で活躍する県本部長・ いなる功績を残されました。 大いなる貢 現

営に尽力し

して会の運

事務局長と たり当会の

長年にわ

難いことの一つです。 取得推進委員の一人として、大 いに議論を戦わしたことも忘れ の五年前から結成された法人格 社団法人格取得に際しても、そ また、平成二年に認可された

らは、会員の減少という舵取り 狭間で本当によく頑張ってくれの難しい局面の中、「流と会」の 務局長の勇退に伴い、空席となっ たと感謝いたしております。 ていた事務局長に就任されてか 会」の行く末を見守って、いや、 今後共、健康に留意され 平成二十三年、山元城雄前

います。 ******************** 大いに口出しして頂きたいと思

本		
部		
Ø		
動		
き		
(6 · 3 · 11より)		

24 日 修会 理事会 長崎県本部70周年記 東京都本部の講習

次頁へ続く)

念大会

14 日 20~21日 茨城県本部の講 念大会

5月16日 17 日 習研修会と昇格審査 理事会 常務理事会

6月20~21日 総会・指導者講習研修 令和6年度定時

を彩って頂きました。

「原爆哀歌」につきましては

6 · 3

6年1月1日に よりお見舞い申 れた方々に衷心 た地震で被災さ 能登地方で起き し上げます。 令和

思っております。 こと大変有難く 記念大会を無事 島県本部60周年 福山」にて、広 民文化センター 勢の中、 開催できました (日) に、「県 4 月 14

錦

広島県本部60周年記念大会を開催

このような情

島県本部会員 会員のご支援の賜物であり、 長・城戸城濤先生、 宗家·本村緑崇先生、錦城会会 いただきました先生方、 元錦城先生はじめ詩舞道錦城流 し上げます。 これもひとえに錦城流宗家・山 一同心より感謝申 賛助御出演

◇新師範 の 紹 介 \Diamond

広島県本部60周年記

(前頁からの続き)

田中城泉 石井錦敬 渡邊錦操 雅号 (東京都) (東京都 取得年月 6.3

中沢城輝 (神奈川県) 神奈川県 6.3 6.3

川口城誠 井口城敬 古川錦朱 田中錦佳 久信田城孔 (茨城県 日野城元 **吉武錦郷** (長崎県) (長崎県) (大分県) (大分県) (大分県 (長崎県 6 . 5 6 5 6 · 5 6 . 4 6 · 4 6 6

は、 上演いたしました。琵吟舞曲「太 絃録」や原爆犠牲者八十回忌追 田道灌」、 悼特別番組 琵吟舞曲「太田道灌」、琵琶曲「茶 本大会は、 錦城流会員でもある琵琶奏 琵琶曲 「原爆哀歌」などを 特別番組として、 「茶絃録」で





琵琶曲「茶紘録」



来事が希薄化してしまう状況に が減るにつれて戦争の悲惨な出 わりつつあります。戦争体験者 戦争という出来事が歴史へと変 齋貞心様の解説を交えて実施致 の悲惨さを伝えていくべく一龍 被爆地広島として後世にも戦争 しました。戦後8年が経った今、 びを伝えて、

ありますが、詩吟という魂の叫 いと願っております。 平和の尊さを教えていきた 戦争体験を引き継

間を過ごしました。 鼓で会場を大いに盛り上げてい 親会を「ニューキャッスルホテ りを交えた催しもあり楽しい時 各支部による地元色濃い歌や踊 ただきました。会の中盤には、 ロ太鼓集団による勇壮な蔵王太 を開けました。続いて、 西川錦洸先生による鏡開きで幕 ル福山」にて行いました。始め 大会終了後、場所を移して懇 城戸会長、賛助の先生方、 山元錦城先生、本村緑崇先 地元プ

> りましょう。 生、高橋城伸先生の教えを胸に に尽力されました小山城将先 高齢化等で大変な事もあります ご指導を賜りました。 今後も錦城流の発展に努めて参 長・西川錦洸先生には、 今は亡き広島県本部の活動 会員一同 多く

り関係者の皆様のご努力・ご協 力に感謝申し上げます。 改めまして、会の運営に当た

(福山松浜支部 高橋城 凰

掲載させて頂きます。 の豊岡錦敬さんの投稿は次号に 琵吟舞曲 ******************* 「大田道灌」を終えて Ŝ

(令和6年7月~6年12月) 本会主催 催事のご案内 ◇本会後援

◇福岡琵吟研究会公開発表会

・春日市クローバープラザ ・9月14日 (土)

◇鹿児島県本部発足60周年記念 大会

· 9 月 29 日 日

鹿児島市 城山ホテル鹿児島

全国大会 一般社団法人詩吟朗詠錦城会

10 月 13 日 日

· 函館市 函館市民会館

◇全国吟剣詩舞道大会

11 月 24 日 (吟道之碑顕彰·維持管理事業)

東京都港区ニッショウホー

運営するに当たり、広島県本部

最後になりましたが、大会を